

## 【消化器内科】

### バレット食道って何？

国吉病院

院長 国吉 宣俊 さん

食道の粘膜は扁平<sup>へんぺい</sup>上皮という粘膜で覆われています。一方、胃や腸は円柱上皮という粘膜で覆われています。バレット食道は、食道下部の粘膜が胃から連続して同じ円柱上皮に置き換えられた状態をいいます。さらに、80%は食道がんの発生する腸上皮化生を含んでいて、食道がんに対してリスクが高い病気です。日本でも食生活の欧米化に伴い、今後増加するこ

とが予測されています。自覚症状は胸やけと胸の痛みで、特に夜間の痛みは特徴的とされます。原因については明らかではありませんが、食道への胃酸の逆流が関係するといわれています。胃酸の逆流により食道粘膜が炎症を繰り返し、細胞が変性すると考えられています。診断は、内視鏡検査で食道の扁平上皮に比べて赤っぽい円柱上皮が発見されたら、組織



を採取して腸上皮化生の存在を確認する必要があります。治療は酸の逆流を抑える薬を使用する場合がありますがバレット食道がなくなることはありません。バレット食道から食道がんになるリスクは通常より高く、定期的な検査が必要とされています。

#### 医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他